

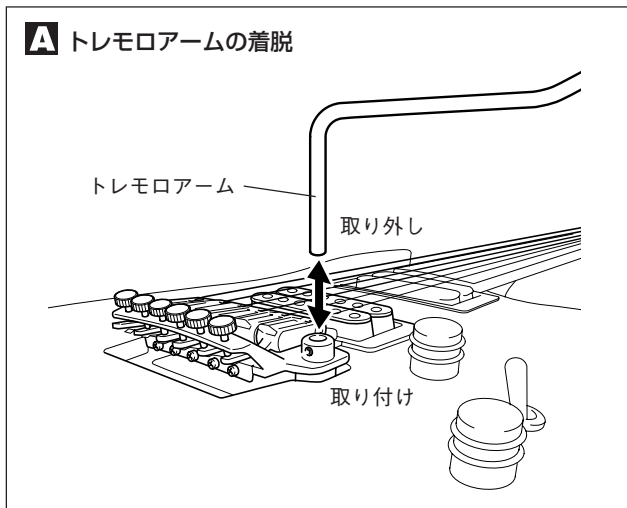
FC (FingerClamp) トレモロシステムの使用方法

ヤマハオリジナル「FCトレモロシステム」は弦をチューニングしたり、交換したりする際でも工具は不要です。「FCトレモロシステム」本来の性能を発揮させるため、弦交換や調整を行なう場合は以下の説明に従ってください。

弦交換の準備

■ トレモロアームの着脱

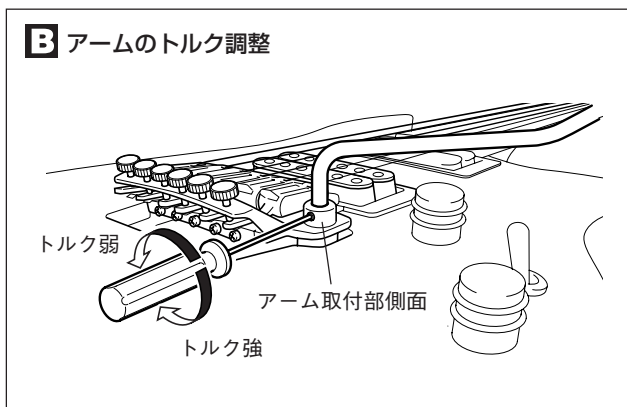
トレモロアームは差し込んだり、引き抜いたりするだけで簡単に着脱できます。(図 A)



■ トレモロアームの回転トルク調整

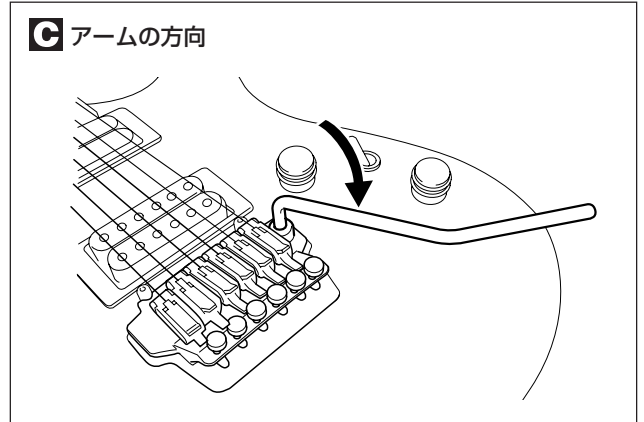
アーム取付部側面のネジを回転することでトレモロアームのトルクを調整することができます。(図 B)

* この調整はアームを取り付けた状態で行なってください。



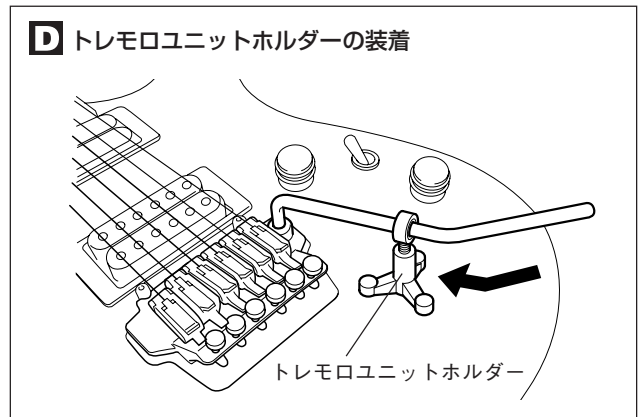
■ トレモロユニットホルダーの装着

1 トレモロアームをボディ後方へ回します。(図 C)



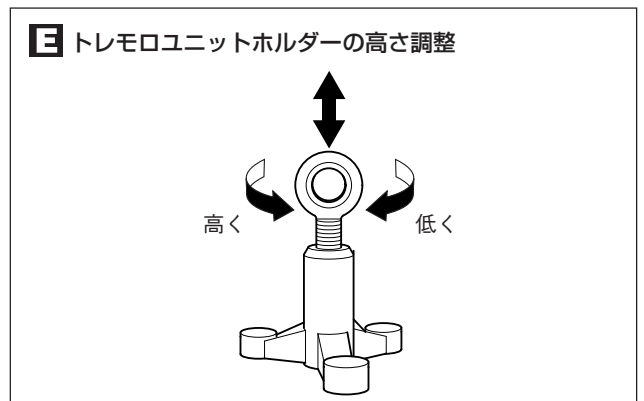
2 「トレモロユニットホルダー」の頭部をアームに差し込んで、ギターボディ上面にセットします。(図 D)

* 「トレモロユニットホルダー」を使用すると弦交換を簡単に行なうことができます。



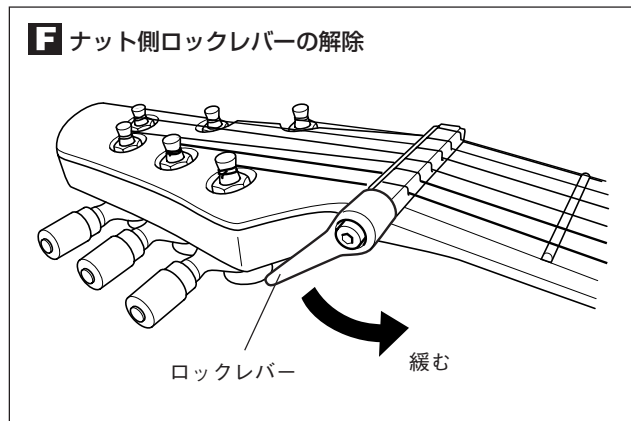
* 「トレモロユニットホルダー」の頭部を回転させると高さを調整できます。(図 E)

「トレモロユニットホルダー」がトレモロユニットを水平状態で支えるよう、高さを調整してから使用してください。

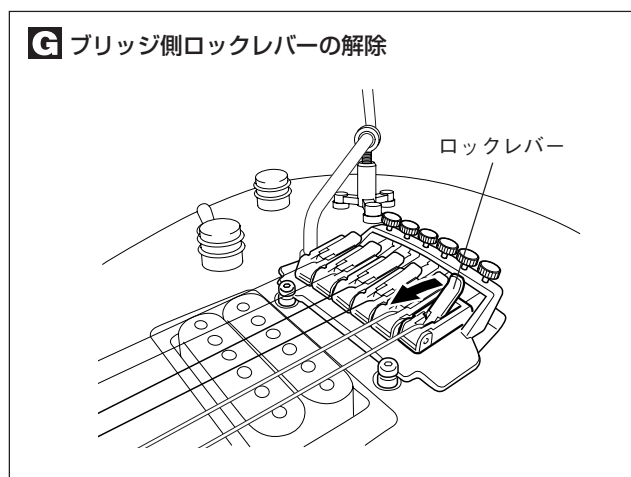


古い弦の外し方

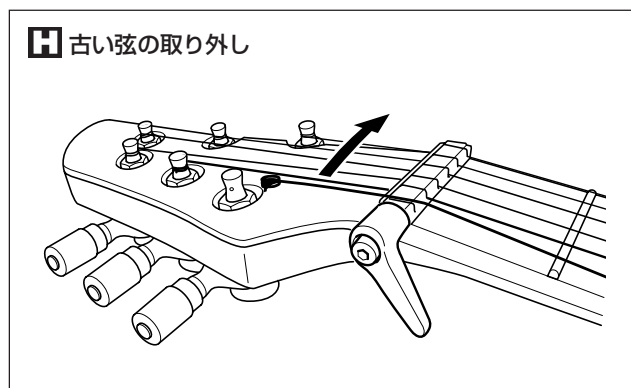
1 FCナットのロックレバーを緩めます。(図 F)



2 トレモロのロックレバーを引き上げます。(図 G)



3 糸巻を緩めて古い弦を外します。(図 H)

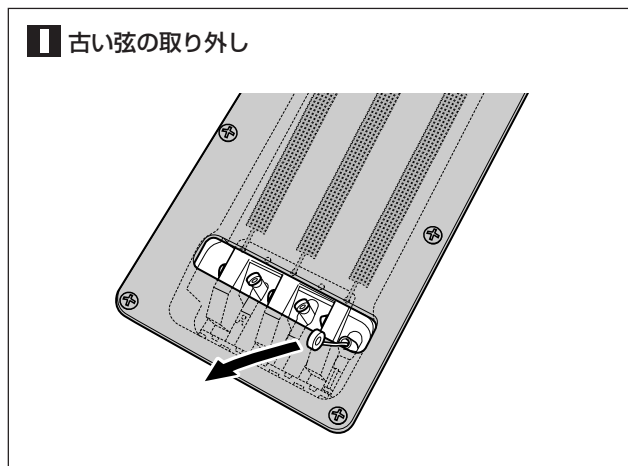


* 「トレモロユニットホルダー」がトレモロユニットの姿勢を保持するので、弦交換が容易にできます。

* 「トレモロユニットホルダー」により、トレモロアームが抜ける場合は、トレモロアームのトルクを強めに調整してください。(図 B)

4 ボディ裏側から古い弦を外します。(図 I)

* この際、裏カバーを取り外す必要はありません。

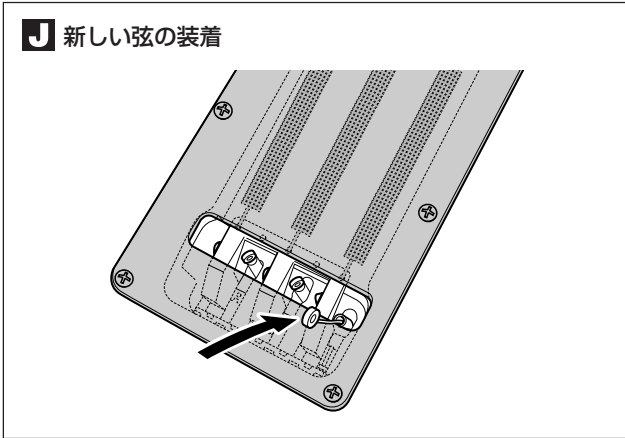


新しい弦の張り方

- 1 ボディの裏側から新しい弦をトレモロユニットに差しこみます。(図 J)

* 弦のボールエンドを切る必要はありません。

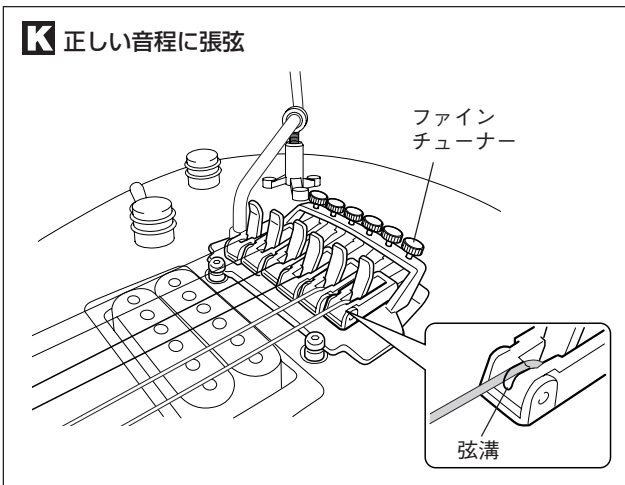
J 新しい弦の装着



- 2 糸巻で正しい音程に張弦してください。
FCトレモロのロックレバーはまだ立てたままにしておきます。(図 K)

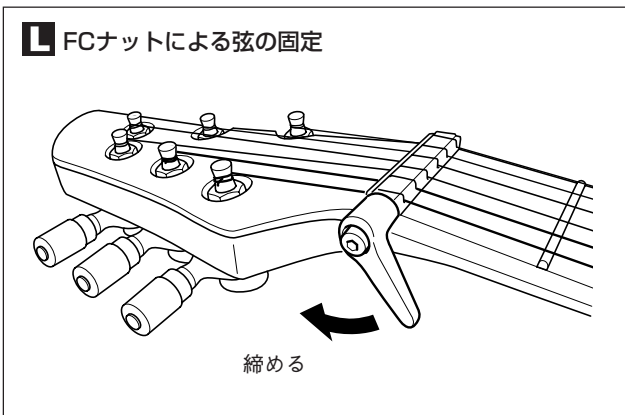
* 弦がブリッジサドルの弦溝に乗っていることを確認してください。
* 「ファインチューナー」は調整代のほぼ中間にしておきます。

K 正しい音程に張弦



- 3 FCナットのロックレバーを締めこんで6本の弦をまとめて固定します。(図 L)

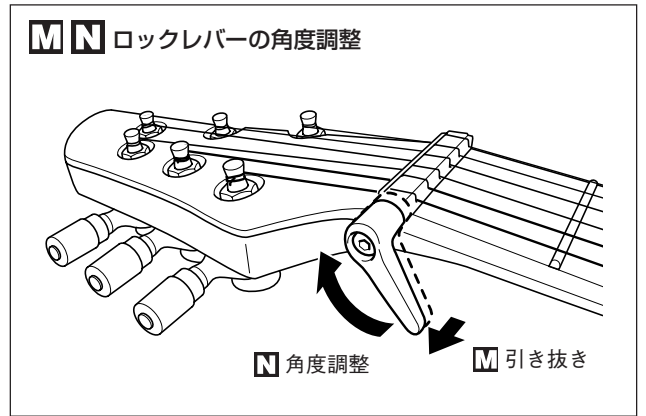
L FCナットによる弦の固定



* ロックレバーを締める際は工具等を使用しないでください。
内部機構が破損する恐れがあります。

- 4 FCナットのロックレバー部分を引き抜くと(図 M)、お好みの角度にロックレバーの方向を変えることができます。(図 N)

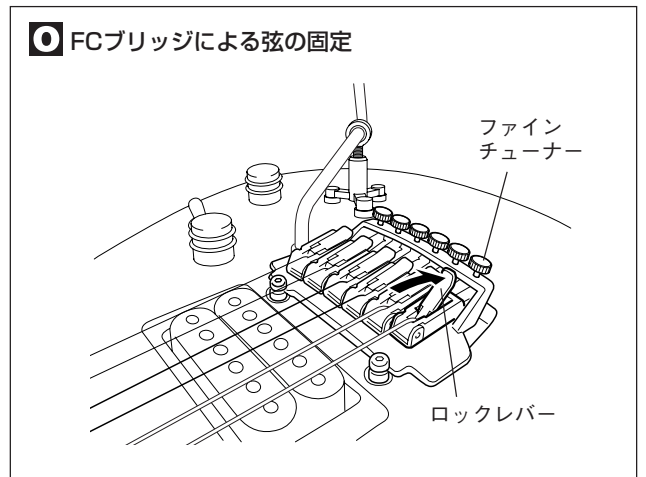
M N ロックレバーの角度調整



- 5 トレモロのロックレバーを元の位置に倒します。(図 O)

* この操作によりロックレバーが弦を固定します。

O FCブリッジによる弦の固定



- 6 「トレモロユニットホルダー」を取り外します。

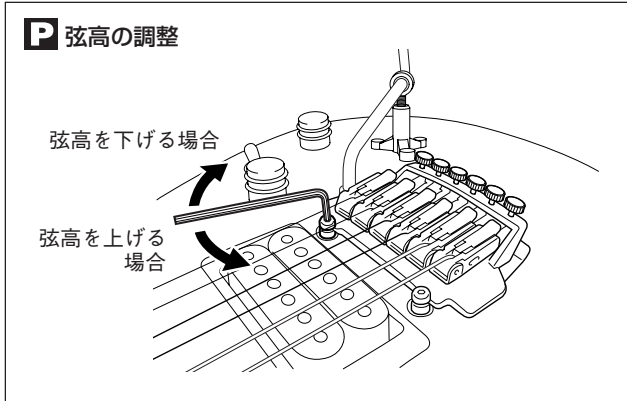
- 7 「ファインチューナー」で音程の微調整を行なってください。

FCトレモロの調整

■ 弦高(アクション)の調整方法

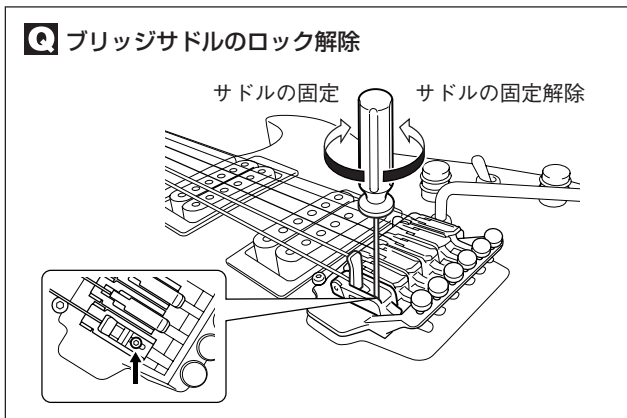
六角スパナでスタッドボルトを回転させて、FCトレモロの高さを調整します。(図 P)

- * 1弦側と6弦側の高さを調整すれば他の弦高も適正となるように設計されています。



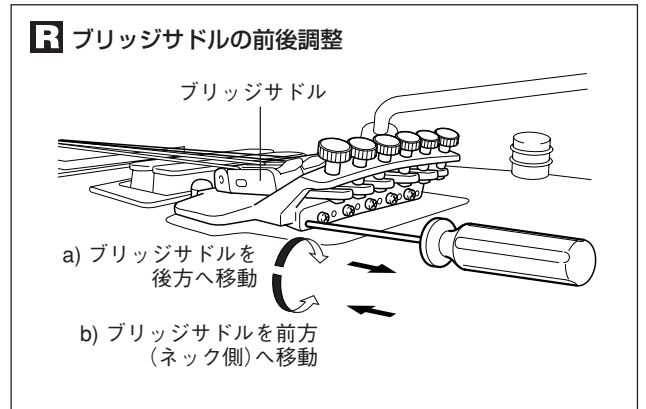
■ イントネーションの調整方法

- 1 トレモロのロックレバーを引き上げます。(図 G)
- ブリッジサドル内部のロックボルトを緩めます。(図 Q)



- 2 トレモロ後端のネジを回転させて、ブリッジサドルの前後調整を行ないます。(図 R)

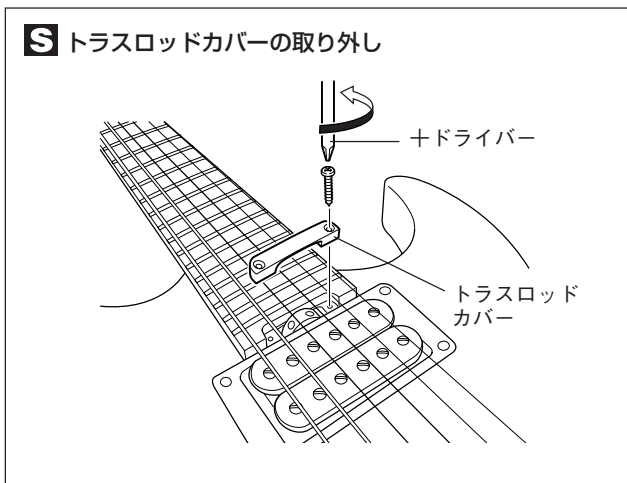
- a) 12フレットのハーモニクスより12フレットを押さえた音が高い場合、ネジを時計方向に回転させてブリッジサドルを後方に移動します。
- b) 12フレットのハーモニクスより12フレットを押さえた音が低い場合、ネジを反時計方向に回転させてブリッジサドルを前方に移動します。



- 3 ブリッジサドル内部のロックボルトを締めます。(図 Q)
- 4 FCトレモロのロックレバーを元の位置に倒します。(図 O)

ネック反りの修正方法

- 1 ネック末端のトラスロッドカバーを+ドライバーで取り外します。(図 S)



- 2 トラスロッドナットを+ドライバーで回転させてネックの反り量を調整します。(図 T)

- * ネックは少し順反り状態にあるのが適正です。
- * トラスロッドの調整はネックの状態を確認しながら少しずつ行なってください。

